

## 手話サークルもみじ

2024年も  
よろしく  
お願いします



### 手話サークルもみじ

#### 2024年1月の予定

- 1月11日(木) 10時~11時30分  
福祉センター地下研修室
- 18日(木) 10時~11時30分  
福祉センター地下研修室
- 25日(木) 10時~11時00分  
福祉センター地下研修室

#### 2024年2月の予定

- 2月1日(木) 10時~11時30分
- 8日(木) 10時~11時30分
- 15日(木) 10時~11時30分
- 22日(木) 10時~11時00分  
(11時から役員会)

**29日(木) 10時~11時30分 ※**

会場:福祉センター地下研修室

**※ 29日の会場は輝きサポートセンター**

お問い合わせ shuwamomiji30@yahoo.co.jp

### 会員より

秋の交流会で「たましろの郷」の見学会に行ってきた。コロナ前に夏祭りに参加して以来のたましろの郷で楽しみでした。見学会は初めてでなかまの生活の部屋や作業所での仕事の様子、触手話もテレビドラマで見たことはありましたが、目の前で見たのは初めてでした。職員が触手話で名前の表現をして自分のお腹を触らせて自分を認識して貰う様子には思わず笑ってしまいましたが、温かい距離感に見入ってしまいました。

今後もサークルでのいろいろな活動を楽しみにしています。

本年もよろしくお願いします。(N)

## もみじ秋の交流会『たましろの郷見学』の感想をいただきました

たましろの郷の課題

岩戸五郎

たましろの郷には、年末の餅つきに参加してお手伝いをしてきた。燃料の薪が丸太を切っただけのものでとても燃えにくかった。薪割り用の鉈（なた）を持って行ってかまど担当。杵で餅つきは居るが、臼（うす）の返しが手薄。火加減見ながら返しを担当していた。

5年前に車をやめて行けなくなった。それ以後の訪問である。ろう協、福手、もみじの12名と、小金井のサークル6名で、東青梅駅からお迎えのバスに乗る。紅葉の山道を楽しみながら現地へ。

見学は2グループに分かれる。なかまたちの居室に入り説明を受ける。部屋の真ん中に共用スペースがあり、それを囲む個室があって、なかまの交流を目指したこの部屋は、開設当時は珍しい取り組みであった。現在は各種の施設で実施されている。勿論（もちろん）一人用の部屋も用意されている。

説明の中で「本当はこのような施設の要らない社会であって欲しい」との言葉は実感であった。障害者というだけで、家族が、親戚が、社会が拒否する。施設はまだしも、座敷牢（ざしきろう）の現実があった。「障害がある人もない人も共に生きる」社会の難しさである。

作業中のなかま達との交流はとても賑（にぎ）やか。あっちこっちで笑顔がはじける。

「私の作った作品を見て」「私の描いた絵だよ」「この作業楽しいよ」等々。懐かしい顔を見つけた者、初めての対面に満面の笑顔で挨拶を交わしあう者、時間はあっという間だった。

以前はプチの店（福生駅プチギャラリーに近隣の20か所近くの障害者施設からの作品が月1回3日間展示販売される）にたましろの郷からクッキーやシイタケなどが出展されていた。気になってそのあたりを伺い、クッキー室を覗（のぞ）いた。大きな課題であるなかまの高齢化が原因で、連続して立ち仕事ができるのは、清掃班の数名だけとのことである。

なかま達の高齢化と共に施設の老朽化も大きな課題ですとの説明を受けながら。私たちに出来ることはどんなことだろうと考えさせられた。

ゆっくりと記念写真も撮れなかったので、駅前でバスのたましろの郷のロゴをバックに写して解散した。



## たましろの郷見学アンケートより

たましろの郷は明るくて清潔でした。みなさんやりがいを持って自分の仕事を楽しんでいる様子でした。

スタッフの方々は熱意をもって仕事をされていると感じました。たましろの郷の仲間たちは皆幸せそうで、作業の様子を見学できたことで、カレンダーや T シャツも愛おしく感じるようになりました。

重複障害を持った方が 3000 人いて、たましろの郷のような施設に入れずに過ごしているということに残念な気持ちになりました。ぷーやんあしながクラブにも耳が聞こえない知的障害のある方がいましたが、スタッフやろう者と手話でおしゃべりして楽しそうに過ごしていました。手話ができる人がどこにでもいるというくらい手話が普及するように、サークル活動や、手話講習会の運営などを頑張ることができることかと思えます。

たましろの郷は明るくて綺麗でした。なかまの身体状態にあった支援で、無理や負担のない環境だと感じました。歯科衛生やマッサージも入っている事もよい環境だと感じました。

スタッフさん達も穏やかな支援をされていて、なかまも落ち着いて作業されていました。全員ではないですが、実年齢以上に老いたなかまにショックを受けました。

今後、・物品面での協力を継続する・ボーナス買い物などイベントでボランティアが必要な時にはサークルで連絡を受け、参加者を募って活動する、などができるのではと思いました。

## 手話サークルもみじ恒例クリスマス会

# 「クリスマスコースター作り」

今年最後の活動は、毎年恒例のクリスマス会。かわいい布を縫い合わせで「クリスマスコースター」を作りました。担当者は、事前にお買い物をして1名分のセットを作製、作り方の動画を撮り参加予定者に配信と、がんばって準備をしました。

当日は聴覚障害者協会より4名、手話サークル福手の会より4名のご参加をいただき総勢14名。担当に説明をきく人、黙々と作業を進める人、みんなそれぞれ楽しみながら作りました。

ちょっと時間が足りなくて完成には至らなかった人もいましたが、「持ち帰って作ります!」。完成が楽しみです。

